

熱 砂

開校記念日

4月15日は本校の第36回目の開校記念日でした。全校集会で本校設立の歴史や学校開校にかける思いなどについて少し話をしました。



1980年4月15日にデイラのハマリア地区に民家をお借りして児童生徒数33名、派遣教員4名、現地採用教員2名でスタートしました。日本人学校の設立にあたっては校舎を借りることから始まり、派遣教員の住居の確保やスクールバスや運転手さんの確保アラビア語の先生の確保などに苦労なさったそうです。また、なんともいっても学校を運営するための資金集めのために日本人会を中心とした

学校設置準備委員会の皆さんが大変苦労されたと聞いています。

1987年に現在のAL WASL地区に新築移転して現在に至っています。本校の歴史と伝統はこれまで本校に関わってこられた沢山の皆様の思いと努力によって創りあげてられました。

本校の「めざす学校像」の中に「学校をつくるということは、私たちの手で煉瓦を積み、私たちの手で一枚一枚の板に釘を打ち付けていくことなのです。私たちのかわいい子どもたちのために……。」という建学当時の人々の思いが脈々と伝わってくる言葉があります。私たちは当時の日本人会や学校関係者の皆様の思いを忘れることなく、これからも素晴らしいドバイ日本人学校、そして世界に誇れる学校として日々努力していかなくてはならないと思います。

建設から29年が経ち校舎も古くなり修理することも多くなりました。今年度は日本人会や学校運営理事会の皆さんの長年の課題でもありました学校の改修に取り掛かっていただきます。夏休みや冬休みの長期休業中を中心に工事を行う予定です。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

熊本地震

4月14日に九州熊本を中心とする地域で大地震が発生し多くの被害が出ています。特に益城町、熊本市、阿蘇地方、大分県由布地方では家屋の崩壊や土砂災害によって多くの犠牲者も出ています。

地震の規模は先の東日本地震に匹敵しています。津波と原発被害がなかったのが不幸中の幸いでしょうか。ただ余震がまだまだ続いておられますので被災地の皆さんは大変なご苦労をしていると思います。この地震で多くの人が犠牲となり、ご冥福をお祈りするとともに一刻も早く余震が収束し、復興に立ち上がってほしいと願っています。

本校でも児童生徒会を中心に被災地への支援活動を話し合っています。自分たちに何ができるか募金活動を中心に話し合いを進めています。児童生徒の気持ちを大切に、学校としても児童生徒の活動を支え、一緒になって活動していきたいと思っています。

支援活動の内容が決まりましたら児童生徒会からご連絡させていただきますのでご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新派遣教員のあいさつ

遠藤 孝（えんどうたかし）先生



この4月に宮城県から派遣されて参りました、G2担任の遠藤孝です。北国から参りましたが、ドバイの暖かさ（暑さ?）にも徐々に慣れつつあります。元気な20名の子どもたちからたくさんのエネルギーをもらいながら、楽しくやっております。博物館勤務なども経験しており、その経験も生かしながら、日々の指導に当たって参りたいと思っております。ドバイでは、一度スキーをやってみたいと思っております。どなたか一緒に行っていただけると嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

小川 真之（おがわしんじ）先生



はじめまして。茨城県ひたちなか市から参りました、小川真之です。今までの教師経験の中で、一番規模の小さい学校での勤務となりますが、学校全体の児童・生徒のまとまりや、あたたかな雰囲気を感じ、この学校に赴任できたことをうれしく思っています。ドバイについてはテレビなどを通して知ってはいましたが、実際に住み始めてみると、毎日が驚きと発見の連続です。どうぞ、よろしくお願ひします。

三井 智暁（みついとともあき）先生



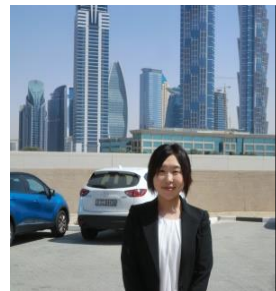
はじめまして。神奈川県横浜市から参りました、三井智暁（みついともあき）と申します。前任校は横浜でも1、2を争う大規模校で全校生徒が1060名というところでした。ここDJSは109名と少ない人数ですが、児童生徒がとてもパワフルで、礼儀正しく、毎日驚きの連続です。（いい意味で）まだ赴任して日が浅いので、早くドバイの気候や生活に慣れて、授業や部活動など楽しく皆さんと学校生活ができるようにしていきます。宜しくお願ひ致します。

竹下 啓介（たけしたけいすけ）先生



4月より長野県から赴任して参りましたG5担任の竹下啓介（たけしたけいすけ）です。以前、旅行会社に勤務していたことがあります。日本と気候も文化も異なるUAEで子どもたちと勉強できることをうれしく思っています。DJSの素直で、そしてのびのびとしている子どもたちと過ごしていると、こちらまでパワーがみなぎってくるようです。ドバイの暑さと同じように、毎日熱い気持ちで頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

圓成寺 摩耶（えんじょうじまや）先生



はじめまして。佐賀県から赴任して参りました、圓成寺摩耶と申します。DJSの子どもたちの“ぱっ”と明るい笑顔や、“さっ”と動く積極性、“ぎゅっ”とまとまる団結力など、『がばいかつこよか姿』に感心しています。これから、授業や行事など、児童生徒と共につくりあげ、ドバイ日本人学校を盛り上げていきたいと思ひます。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願ひいたします。